

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社イシワタグラフィックス )

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
人権・労働	1 【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、昇進登用などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、社長はじめ役員部長を中心に積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、研修の実施をしている。【予定】相談窓口の設置					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			長時間労働は正のため、生産性の改善、時間管理多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行なっている。							8.5 8.8							
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現状いないが、採用する場合は適切な労働環境の整備をする。			4.4				8.7 8.8		10.2 10.3					
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			社員向けの労働安全衛生講習の実施と社内システムによる危険公表。資格取得の実施。【予定】安全優良企業公表制度認定(厚生労働省)取得			3				8							
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			【予定】メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修。対応するための休職規定の整備			3											
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			性別・年齢等によらない仕事内容のポードレス化の推進をしている。【予定】WEBサイトで発信する。				5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内外の研修体系の整備と実施をしている。			4	5.5			8	9						
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			【予定】同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備し、実践している。職場いきいきアドバンスカンパニー認証の取得を予定。				5.5			8.5		10.2 10.3					
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			【予定】協会けんぽ長野支部に「健康づくりチャレンジ宣言」を行う。健康経営優良法人認定制度2023(経済産業省)の取得。			3				8							
環境	11 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類・量など現状を把握し、manifestoを管理している。										11.6	12.4		14.1	
	12 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			【予定】省エネ診断をし、エネルギー削減計画を策定する。						7.3							13	
	13 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			【予定】算出ツールを用いて温室効果ガスの排出量を把握し、エネルギー削減計画を策定する。						7.2 7.3					12.4		13.3	
	14 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令規制のある有害化学物質を把握・管理し、台帳にしている。			3.9			6.3				11.6	12.4			



	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (※などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには記載不要)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			SIAA認証を取得し、製品に使っていくことで、製品の安全性を確保している。			3.9										12.4		
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			顧客からのクレームなどを社内でも共有している。 【予定】品質保証の仕組みづくりをしている。									9						
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			環境への負荷を考慮した製品開発を行なっている。特に再生P P100%使用の環境配慮型クリアファイル等の開発に取り組んでいる。						6							12	13	14
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			社会課題の解決は、弊社のビジネスそのものである。製品開発の最も重要テーマとし、ゴミのでないスクラッチカードやコロナ禍でのフェイスシールド開発など社会課題に向き合い実践している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			事業の地域への影響の把握を行い、改善に努めている。				4					9		11	12		14	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			地域のスポーツ団体への協賛金の支出やサポートを行なっている。				4							11			14	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			仕入れの90%以上を地元仕入れ先より仕入れている。								8	9		11	12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本		【予定】	経営理念の策定及び経営目標の明文化。それを共有する。									8	9					
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			法令遵守の重要性を全社員に向け社内システムを使って発信している。															
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			社長自らが行なっている。 【予定】担当部署を決め組織を作っていく。															
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本		【予定】	【予定】ステークホルダーにアンケートをとり、自社の影響を把握し適切に対応する。															
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	【予定】リスクの洗い出しを行い、適宜対応する。															
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	【予定】CSR方針の策定し、マネジメントプロセスの整備を行う。															
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	【予定】訓練・シミュレーションを行う。BCPの見直しおよびBCM (事業継続マネジメント) を実践する。									9		11		13	13.1	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			後継者の検討を行なっている。 【予定】後継者を決定し育成する。								8	9						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス賞、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定